

スポーツ かわさき

No. 23



川崎市体育協会

平成
元年度
スポーツ
教室事業費等を
大巾増額

川崎市体育協会評議員会終わる

体協法人化の気運いよいよ広がる

川崎市体育協会評議員会は去る5月17日、市立産業文化会館で開かれ、平成元年度の事業計画・予算案等についての審議が行われました。

評議員会は円滑に進行し、これに先立って行われた理事会でまとめられた原案通り、満場一致で可決。体協は平成元年度の新たな歩みを開始しました。

スポーツ教室事業費等を大巾に増額

本年度市体協の主要施策は別掲の通りですが、注目すべき予算では、スポーツ教室の事業費が前年比185万5千円も増額され、2,288万円になったこと。これは市民の生活に根ざした市民スポーツの振興に、より一層寄与しようとする体協の姿勢の表われであるといえましょう。

また市民体育大会等委託事業費や、県総合体育大会・国民体育大会への選手派遣奨励費も併せて49万1千円増額され、選手強化・競技力向上にも力を注いでいることがうかがえます。

広報費も年間100万円の予算を承認。より広く、よりくわしく、そしてより楽しい「スポーツかわさき」の発行を続け、親しまれる皆さんの川崎市体育協会となるよう務めることとしています。

市体協法人化の気運

そしてまた、昨年、創立40周年記念式典を行ったことを契機として興って来た、市体協法人化の動きにも前向きに対処しようとする気運も高まって来ています。

既に市民各層にご協力を頂いている賛助会員制度による法人化準備の積立も軌道に乗り始め、近い将来、川崎市体協を法人化するための、具体的な動きも始まってくることと思われます。そのためには、市民各位の一層のご指導とご協力を仰がねばなりません、スポーツを市民ひとりひとりのものとするため、本年度も体協全役員一丸とな

って頑張る覚悟をしています。

なお、本年度の体協主要施策は次の通りです。

主要施策

(1)各種市民体育大会の開催について(市委託事業)

- ①春季市民体育大会(4種目)
軟式庭球、サッカー、野球、体操
- ②市制記念体育大会(13種目)
陸上競技、剣道、テニス、弓道、軟式庭球、柔道、野球、バレーボール、相撲、卓球、バスケットボール、バドミントン、ボクシング
- ③秋季市民体育大会(16種目)
体操、野球、相撲、弓道、ハンドボール、柔道、バレーボール、テニス、卓球、剣道、バスケットボール、バドミントン、ボウリング、サッカー、ラグビー、陸上競技
- ④市長杯大会、その他(11種目)
卓球、水泳、スケート、スキー、市民登山、少林寺拳法、こども相撲、ソフトボール、なぎなた、合気道、クレ射撃

(2)各種スポーツ活動の普及・充実・強化について(体協主催事業)

- ①スポーツ教室
市民親子スキー教室、市民ハイキング、市民登山教室、合気道教室、婦人テニス大会、婦人水泳教室、その他
- ②講習会
日本赤十字社救急法講習会、その他

(3)各種専門委員会活動の活発化

- ①財務委員会 賛助会員増強募集計画等
- ②事業委員会 スポーツ教室・講習会の充実
- ③競技委員会 県総体ほか大会の普及・振興
- ④広報委員会 広報誌「スポーツ川崎」の充実

(4)スポーツ少年団の育成・強化

次代を担う青少年に対し、スポーツを通しての健全育成を画するためのその施策の強化。

(5)選手・役員の派遣事業の充実

県総体・国体・他都市交歓大会等へ選手・役員を派遣し、競技力の向上をはかる。

(6)指導者相互の連携強化

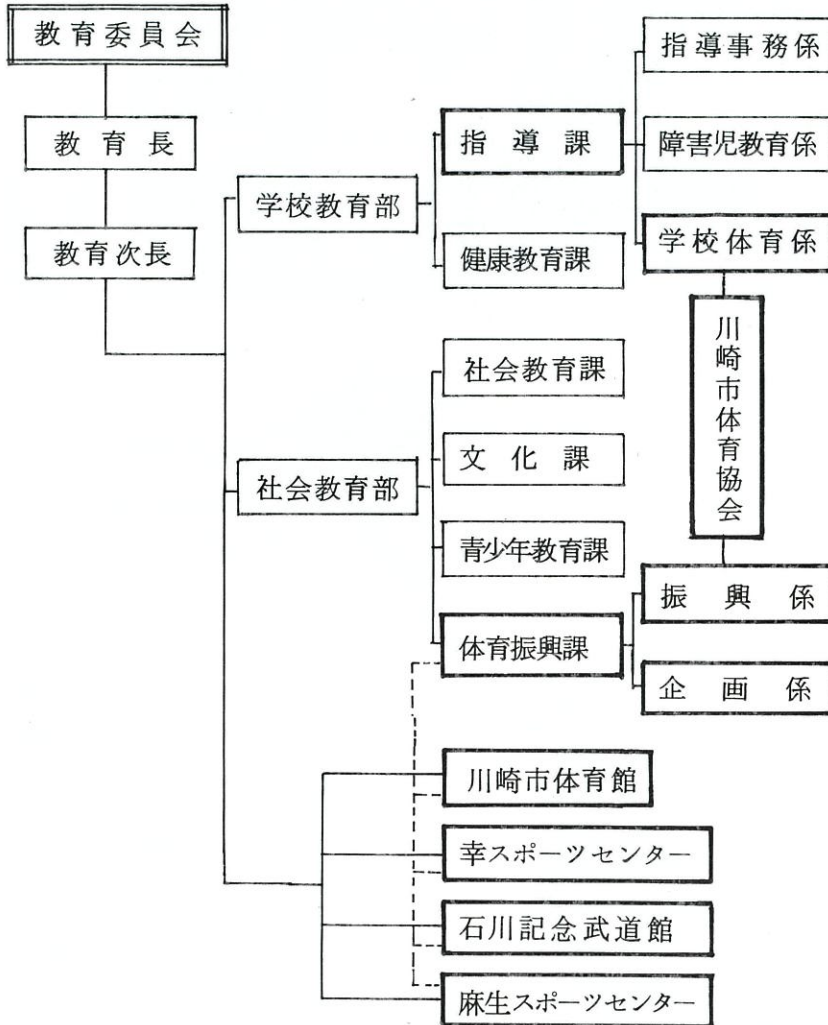
種目団体各指導者相互の緊密な連携体制を持つことにより、一層の資質の向上をはかる。

市民体育の一層の振興に向けて

体育行政
機構改革

去る平成元年4月1日付で市の機構改革が行われ、体育行政においても、社会教育部体育課の体育係・振興係が、新たに社会教育部体育振興課として、企画係と振興係に組織変更され、学校体育については、学校教育部指導課に学校体育係として組みこまれました。

これにより、市民体育の振興は一層充実されることになりましょう。
以下が体育行政の概略の機構図です。



教育委員会
体育課
↓
体育振興課

昭和63年度、優秀選手賞(魚津賞) 14

個人、8団体に決まる!



昭和63年度優秀選手賞(魚津賞)の受賞者が決まり、去る5月17日、産業文化会館でその授与式が行われました。受賞の榮譽に輝いたのは、個人14名と8つの団体(下記一覧)ですが、本年は会長である伊藤三郎市長が都合により出席できなかったため、高橋清助役から受賞者のひとりひとりに優秀選手賞を手渡しました。



(魚津賞獅子像)

○個人の部

1. 中谷 等 (25) 水泳	日本実業団水泳大会	100 m 背泳ぎ優勝
2. 高島 浩靖 (23) 水泳	"	100 m 平泳ぎ優勝
	"	200 m 平泳ぎ優勝
3. 佐藤 友秋 (23) 水泳	"	100 m バタフライ 優勝
	"	200 m バタフライ 優勝
4. 杉沢 毅志 (21) 水泳	"	400 m 自由形優勝
5. 松下理恵子 (23) 水泳	"	50 m 自由形優勝
6. 大野 裕子 (18) 水泳	"	100 m 自由形優勝
	"	200 m 自由形優勝
7. 相良久美子 (20) 水泳	"	50 m 平泳ぎ優勝
	"	100 m 平泳ぎ優勝
8. 福原 美紀 (20) 水泳	"	50 m バタフライ 優勝
	"	100 m バタフライ 優勝
9. 野口 拓子 (23) 水泳	"	50 m 背泳ぎ優勝
	"	100 m 背泳ぎ優勝
10. 野尻 俊宣 (26) 卓球	国体卓球競技	成年男子2部優勝
11. 菊地 政宣 (51) 卓球	国体卓球競技	成年男子2部優勝
12. 佐藤 麻衣 (8) 卓球	全日本卓球選手権	少年の部バンビ優勝
13. 早川 文絵 (18) 弓道	国体弓道競技	少年女子遠的優勝
14. 野本美智代 (26) 空手	全日本実業団空手道選手権大会	女子組手の部優勝

○団体の部

1. NKK男子水泳部	日本実業団水泳大会	総合優勝
2. NKK女子水泳部	日本実業団水泳大会	総合優勝
3. 東芝女子バスケットボール部	全日本総合選手権大会 日本リーグ	優勝 優勝
4. 法政二高バレーボール部	国体バレーボール競技大会	少年男子優勝
5. 市立生田中学校男子バレーボール部	全日本中学校バレーボール選手権大会	準優勝
6. カトウメモリアルスポーツクラブ	第6回ホープス全国卓球大会	団体の部 準優勝
7. 県立川崎北高校女子ハンドボール部	全国高校ハンドボール選手権大会	準優勝
8. 市立西中原中学校女子ハンドボール部	全国中学校ハンドボール選手権大会	準優勝

クレ射撃・卓球競技、川崎市が優勝 軟式野球、テニスも川崎の勝利 剣道・弓道は川口市が制す

対川口市 都市交歓 スポーツ大会

本市体協と埼玉県川口市体協との間で毎年行われている「都市交歓スポーツ大会」は、去る6月4日のクレ射撃競技を皮切りに、本年は当市選手が川口市へ出向く形で行われました。これまで行われた各種競技に、川崎から参加した選手は男女合わせて141名。それぞれに日頃鍛えた技量を最高度に発揮、伯仲した競技を展開しましたが、中でもクレ射撃と卓球の活躍は目覚しく、クレのトラップ競技では団体・個人とも川崎市が優勝。また卓球では男子・女子とも団体優勝、個人戦でも男女とも川崎市が勝ちました。以下各種競技の成績をご紹介します。

○クレ射撃競技

6月4日(日) 東松山市百穴射撃場
トラップ5名、スキート5名 計10名出場
トラップ競技 団体・個人とも川崎市優勝

○卓球競技

6月4日(日) 川口市新郷スポーツセンター
男子7名 女子8名 計15名出場
男子団体 7勝2敗、女子団体 6勝3敗
〃 個人 16勝8敗 〃 個人 16勝10敗
川崎市優勝

○弓道競技

6月11日(日) 川口市青木町公園弓道場
男女あわせて23名出場
団体 川口市的中率44.2% 川口市優勝
川崎市の中率41.3%
個人 川崎吉沢選手2位、柳下選手5位入賞

○陸上競技

6月11日(日) 川口市青木町公園陸上競技場
男・女 24名出場
対抗競技としてでなく、川口市民陸上競技選手権大会への招待選手として参加。トラック・フィールド種目に健闘しました。

○軟式野球競技

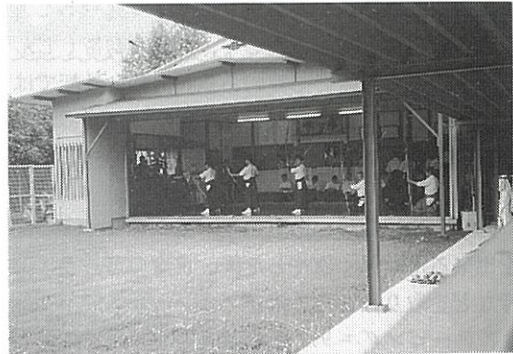
6月18日(日) 川口市青木町公園野球場
NKK野球部 20名出場
NKK4:1川口市 川崎市が勝利

○テニス競技

6月18日(日) 川口市青木町公園庭球場
男女計24名出場
シングルス・ダブルス16試合実施
川崎市13勝、川口市3勝で川崎市の勝利

○剣道競技

6月25日(日) 川口市体育武道センター
男女計25名出場 17試合実施
川崎市3勝、川口市8勝 6引分



弓道競技風景



テニス競技選手団

なお、これから実施される競技の予定は次の通りです。皆さん、応援に行ってやって下さい。

○ソフトボール競技

8月20日(日) 川口市荒川運動場

○軟式庭球競技

平成2年2月25日(日) 川口市青木町公園庭球場

さあ大へん！でも大丈夫！ スポーツ事故の応急手当て法



連載(第11回)

ねんざについて(再び)

日赤神奈川県支部委嘱救急法講師
川崎体育救護クラブ 副会長

左澤重明

写真 ㈱ムトウエンタープライズ 成瀬臣彦

数年前から連載を始めたこの応急手当て法シリーズの、第1回に取りあげたのは「ねんざ」の応急処置の仕方であった。そのとき図解した足首固定のテーピング法について、更に詳しく…という要望が多く寄せられているので、今回はミューラー方式によるテーピングを、ムトウエンタープライズの成瀬臣彦氏の写真をお借りして述べることにする。足首を内転捻挫して、外側の靭帯(じんたい)を傷めた時の処置である。内転と外転ではテープを当てる方向が内と外が逆になるので間違えないようにしないと、逆効果となるので要注意である。

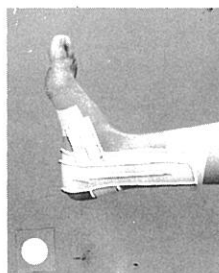
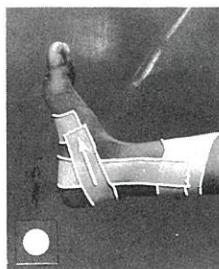
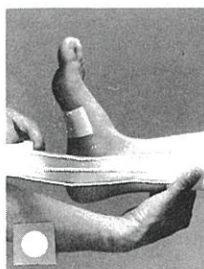
まず、捻挫直後の応急処置の第一として、患部を出来るだけ早く冷やした後、皮膚の汚れや、油汗などを取り除くため消毒アルコール等でよく拭き、テーピングエリアを清潔にする。切り傷やすり傷など外傷がある場合は、清潔なガーゼを当て、直接テープが傷口に触れないようにする。

腰の高さ程度の台の上に患者を長座させ、腓腹筋下部まで台から足を出させる。足首を90度の角度に保たせ、この角度はテーピングが終るまで崩させないようにする。

なお、念の為に申し添えておくが、このテーピング法は捻挫直後の足首固定のためのテーピングであるので、施術後は絶対に運動をさせないこと。捻挫予防のためのテーピングではないので、勘違いをされぬようにして頂きたい。

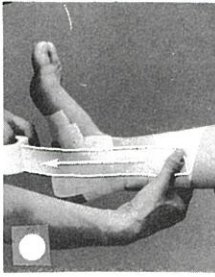


1. テーピングを行う際の最初の基点となるテープをアンカーテープというが、これを腓腹筋下に2本、土踏まず部分(アーチ部という)に1本、足の曲線に沿って入れる。アンカー上部は3~5cm



2. スターアップと呼ばれる「あぶみ型」に張るテープを、内側からクルブシの上を通して踵基部を経て外側のアンカーテープへ、強く引っ張るようにして貼る。
3. 外側アーチ部(土踏まずの外側)のアンカーから、馬蹄形に踵上部を経て内側アンカーにテープを貼る。
これはホースシューといって、スターアップテープの固定力を効果的にする役目をする。
4. 踵近くに、2のスターアップより $\frac{1}{3}$ くらい後にずらして重ねて2本目のスターアップを入れる。

5. 1本目のホースシューから $\frac{1}{3}$ ~ $\frac{2}{3}$ ほどずらして2本目のホースシューを入れる。



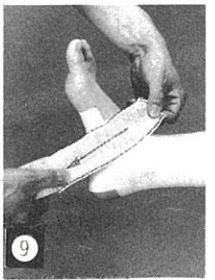
6. 1本目のスターアップに重ねて3本目のスターアップを入れる。
写真4～6でわかるように井げた状に貼って行くわけである。



7. 2本目のホースシューからスライドさせて、2～3本のホースを順次上に貼って行く。このテープは足の前部で重ねない。浅く切る。そして最後は腓腹筋下のアンカー部で一巻きし、これは重ね合わせて止める。



8. ホースシューの先端を固定するため、スターアップテープで止める。これは土踏まず中央を通り外側に廻る。



- さて、ここまではいわゆるホワイトテープという非伸縮性のテープで行うのだが、この次はエラスチックテープという、通気性のある伸縮性粘着テープを用いる。ただし、なければ敢えてエラスチックテープでなくとも、4号～3号の伸縮包帯でもよい。



9. 足の甲の関節基部からヒールロック(踵をより強く固定するため、踵で交差させる巻き方)をスタートさせる。

10. アーチ部を一巻きしてアキレス腱部へ。



11. アキレス腱部から踵へ戻し、再びアーチ部を通る。



12. 外くるぶしから踵を通り、内側踵へ。



13. アーチ部を通り、足首前部から内くるぶしを通る。

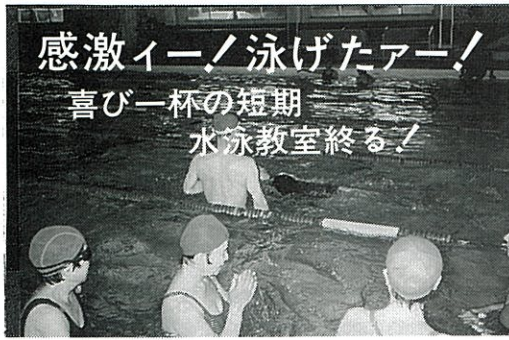


14. そのまま続けて環状に脛(すね)の上部に向けて巻き上げて行く。(サーキュラー法という)

15. 腓腹筋下のアンカー部で切って完了。



追記 テープをはがす時の痛みを軽減するために、施術前にアンダーラップを巻いたほうが良いが、このラップの巻き方は9～15までのヒールロック法とほぼ同じと考えて巻けばよい。



体協主催の短期水泳教室が、本年も去る5月9日～6月9日にかけて全10回の課程で高津区宇奈根にあるカワサキスイミングクラブで開かれました。参加者32名の皆さん全員が素晴しかったと感激されていました。次回、あなたもいかが？

水泳教室に参加して……！

五十路を過ぎての参加ですが、思い切って始めてみました。コーチの方のおかげで、ほんの少しですが泳げるようになりました。もう嬉しくて感激です。

川崎区 永野 聖子

学生時代以来の水泳でした。運動不足のため試してみようと参加させていただいて、たいへんよかったです。ありがとうございます。

多摩区 才津 君代

息つきができなくて水嫌いの私に、どうやって泳ぎを教えてくださいのかなと思っていましたが、たった一ヶ月でこんなに上達するとは…うれしい誤算です。

麻生区 寺門 みを

初めて浮いたときの感激と、少しだけ泳げた喜び。とてもやさしく、笑顔で何回でも指導してくださった先生に感謝しています。

川崎区 石渡 正子

あっという間に10回が終りにきてしまいました。これからもまた水泳を続けられればと思っています。なんとかクロールで25m泳げるようになりました。

多摩区 山形 雅子

息つきができただけでもうれしいと思っていたら、泳げるようになったのがうれしい。

川崎区 浜田美千代

健康を保って過ごすには、水泳は気軽に行えるスポーツだと思います。夏休みに子供とプールに

いき、練習します。

幸区 坂本 美枝

高齢ゆえ正直はずかしかった。しかし子供たちとの家族全員の夏休みをより一層楽しくするために、妻と思いきって申し込んだ。一番嬉しかったことは、指導してくださる先生方が少しも劣等感を抱かせることなく親切に、親身になって教えてくださったこと。

多摩区 矢野 拓資

泳ぐことが楽しくなりました。

矢野 孝子

申込みするとき、とても勇気がいりましたが、毎回出席して今ではとてもよかったと喜んでいました。少しでも泳げるようになりました。

川崎区 横山ユウ子

忙しい中、重いバッグを持ち、電車で揺られてレッスンを受けて本当によかったなあと思いました。とにかく楽しく「心身ともに健康になりますよ」と先生の言うことですので、これからはがんばって続けていきたいと思います。

幸区 久家 照子

来てみて本当によかったと思います。とっても楽しく過ごしました。ありがとうございました。

川崎区 川島美貴子

いつかはスイスイ泳げることを思い、根気よく練習して絶対に泳げるようになりたい。どうも有難うございました。次回も参加したいです。

中原区 田村 律子

初めは楽しく通って、途中で「ああ、やっぱりダメか」と落ち込んで、後半は「うん、なんとか25m泳げそうだ」とがんばりました。コーチと、励まし合いながらがんばった仲間感謝しています。

高津区 橋本 和代

私達のグループは初心者ばかりで、浮くことすらできなかったのが、クロールは13mくらい、背泳は8mくらいまで泳げるようになり、感激でいっぱいです。

川崎区 山田 好子

全10回の短い間のスクールでしたが泳げるようになり、これもコーチの熱心な努力があったからこそです。これからは基本を大切に練習していきたいと思います。

中原区 羽石 康

あなたは年に何回くらい山登りに行 かれますか…？

平成元年度全国山岳遭難対策協議会
「第2分科会」へ川崎山岳協会が資料提供

79名中、59名が年に9～10回
半数以上が自身の健康のため目的
ただし中高年登山者の意識調査です。

ここ数年来、中高年の登山愛好者が激増しています。体協で実施している山登りや登山教室はいつも満員。6月に行った尾瀬などは80名定員で募集したのが、受付開始後数日のうちに200名を超える申込み。抽選の予定でしたが、余りにも熱望なので、それに応えるべく急遽2回に分けて実施をするという状況でした。

スポーツ教室のみならず、中原・麻生区の各市民館で行った成人学校「中高年の登山教室」も定員の倍くらい集まるという昨今でした。

この状況は川崎市だけのことでなく、全国的に中高年者の登山がブーム状態になっています。これは大変に喜ばしいことではありますが、反面、不勉強な山を知らない人達による遭難事故が増えているのも事実です。

全国遭難対策協議会 文部省が主催

このような現状を踏まえて、山岳事故を少しでも減らすことを目的に、全国遭難対策協議会が去る6月15・16の両日、文部省の主催により、箱根小涌園で開かれました。集まったのは全国各都道府県の警察関係山岳救助隊・登山関係者ら約700名で、2日間にわたり熱心な討議が展開されました。

この中で市体協会員の川崎山岳協会は、第2分科会に一般市民登山愛好者を対象として行ったアンケート調査の結果を資料提供し、大変に参考になるとの評価を得ました。

その中の代表的な質問を挙げてみると次のようなものです。

○以前から山登りをしていましたか。何才から？

- 15～20才 8名 ● 31～40才 9名 ● 51才以上
- 21～30才 17名 ● 41～50才 24名 15名

○これからも山登りを続けたいですか

- 続けたい 75名 ● 疲れるからやめる ナシ
- その他（仕事の都合による）1名

○山登りに行かれる目的

- 健康に良いから 47名 ● 動植物観察 9名
- 新緑や紅葉など樹林を求めて 18名 ● ほか 2名

○山登りのために予備運動をしていますか

- マラソン 17名 ● 歩け歩け 14名 ● テニス 9名
- バレーボール 10名 ● ゲートボール 7名

○あなたの年齢は？

- 10代 3名 ● 20代 3名 ● 30代 6名
- 40代 19名 ● 50代 24名 ● 60代以上 24名

平成元年 最高の思い出 尾瀬でありがとう！

今野 サミエ

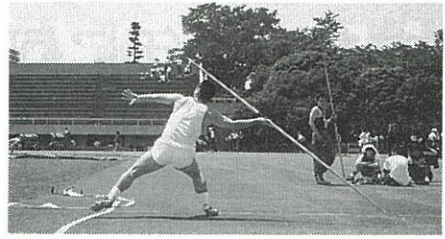
このたびは尾瀬でひとかたならぬお世話になり、誠に有難うございました。

認識不足で、たゞミズバショウ見たさのみで参加して、皆様にご迷惑をおかけし、恥かしい思いです。しかし、おかげさまで念願の尾瀬に登り、こんなにも美しい自然の風光に接することができるとは…。平成元年の最高の思い出を作ることができましたこと、とても感謝申し上げます。どうぞ今後ともよろしく願い申し上げます、お礼にかえます。



市制記念体育大会

13種目競技多彩に開催



市体協加盟団体では、市制記念日である7月1日を挟んで、毎年6月から8月にかけて、各種目の記念競技大会を行っています。本年も剣道・テニス・弓道・軟式庭球・柔道・バレーボール・相撲・バドミントン・バスケットボール・卓球・陸上競技・ボウリング・なぎなたの13種目が行われました。それらの中の幾つかの記録を拾ってみました。



☆市制65周年記念市民卓球大会

6月10日・11日 川崎市体育館

- 男子シングルの部
 - 優勝 安戸 隆(日電玉川)
 - 準優勝 内田 裕之(")
- 女子シングルの部
 - 優勝 池上 文子(池上クラブ)
 - 準優勝 太田那津江(青葉会)
- シニアの部
 - 優勝 菊地 政宣(富士通)
 - 準優勝 長尾 雄二(たくま会)
- 高校男子の部
 - 優勝 小幡 哲也(高津高校)
 - 準優勝 仲村 功一(大師高校)
- 高校女子の部
 - 優勝 宮野 綾子(百合丘高)
 - 準優勝 越川 雪絵(大西学園高)
- 男子60才以上の部
 - 優勝 岡田 貞夫(無所属)
 - 準優勝 坂尾 勇(")
- 女子60才以上の部
 - 優勝 山田 ミヤ(無所属)
 - 準優勝 高橋紀子(リリース)

☆市制記念陸上競技大会

7月2日 市営等々力陸上競技場
トラック・フィールドとも競技は午前9時30

分から開始。梅雨空の中、100、400、800、1500、3000、5000メートルの各レースと、走巾跳、走高跳、円盤投、砲丸投、やり投が行われましたが、次の通り9つの大会新記録と1つの大会タイ記録が生まれました。

- 一般男子 5000M
 - 大谷 定久(東急) 14分57秒0
 - 大会記録は本人の持つ14分57秒2
- 一般女子 3000M
 - 湯川 陽子(法政大) 10分06秒3
 - 中田 仁子(東急) 10分20秒2
 - 村上 朋子(生田高) 10分32秒2
 - 大会記録は10分32秒7(守屋弘子=日電)
- 中学男子 100M
 - 遠藤 裕一(住吉中) 10秒9
 - 大会記録は11秒4(阿部憲司=向丘中)
- 中学男子 800M
 - 菅野 泰正(犬蔵中) 2分06秒8
 - 大会記録は2分07秒0
 - 佐々木直人・淵上朋彦(いずれも有馬中)
- 中学男子 4×200Mリレー
 - 宮崎中学校(黒野・浜田・渡辺・村木)
 - 1分34秒0
 - 橋中学校(河原・西本・中村・柳沢) 1分34秒3
 - 大会記録は1分34秒3(住吉中)

● 中学女子 3000M

西塚 晴美(稲砂中) 10分54秒4

石川 文子(日吉中) 11分07秒2

大会記録は11分11秒1(遠藤由里子=富士見中)

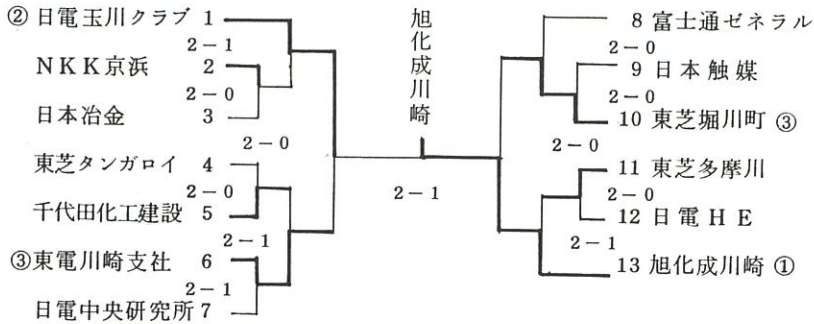


☆市制記念一般男女9人制

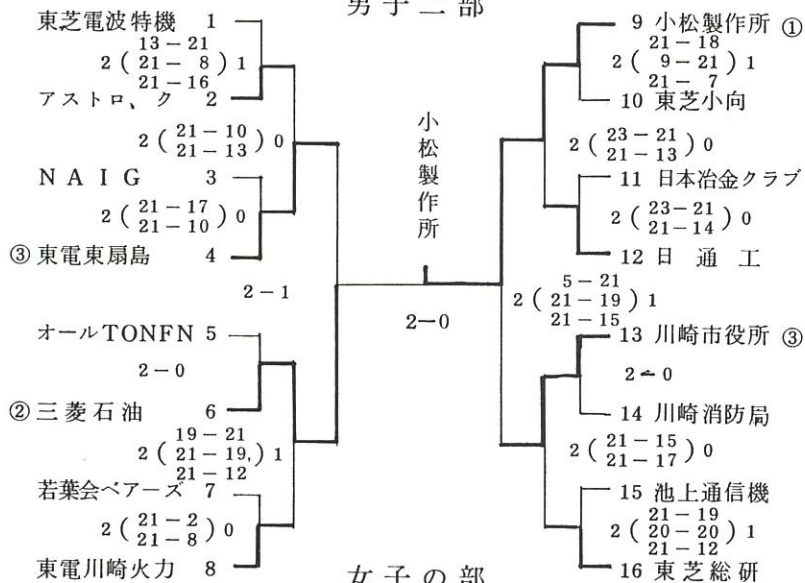
バレーボール大会

7月9日 東芝堀川町体育館

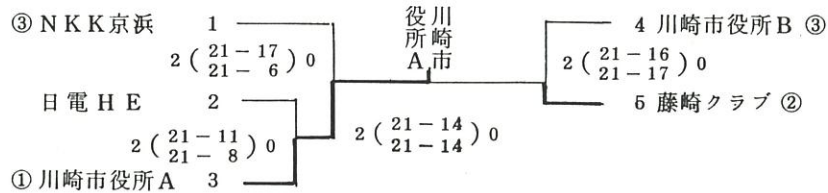
男子一部



男子二部



女子の部



☆市制記念相撲大会

7月16日 富士見相撲場

あいにく高校野球の子選と重なってしまった為、
 高校生の出場が得られず、中学生主体の大会とな

ってしまった。

団体戦

優勝 京町中学校 2位 高津中学校
3位 西中原中学校 3位 大師中学校

個人戦

1年生の部

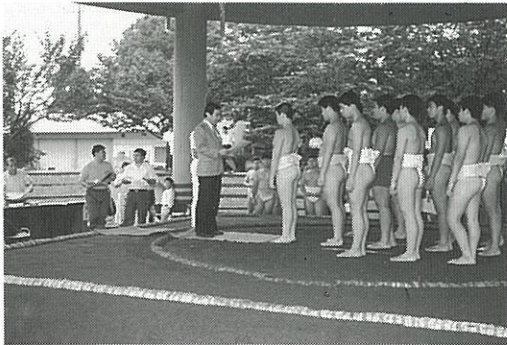
優勝 片山(西中原) 2位 高橋(川中島)
3位 岩下(富士見) 3位 石川(川中島)

2年生の部

優勝 松原(富士見) 2位 長戸(西中原)
3位 長井(大師) 3位 早坂(大師)

3年生の部

優勝 井上(西中原) 2位 三上(川中島)
3位 山崎(大師) 3位 高橋(川中島)



◆ 編集後記

◇川崎の体協も何とか法人化しなければという声は既に12~3年も前から起こっていた。だがその声も、遂におもてには出ずじまいで時が過ぎてしまった。

◇その間に大阪・神戸・福岡・川崎以外の政令指定都市の体協はすべて法人化。中小都市(富山・浦和・川口・松江等)でさえも法人成してしまっている。相模原市・福岡市も法人化間近とか◇今、川崎によく興って来た法人化の動き。この気運、一気に押し進めて行きたいものだと思うのは私だけだろうか。(左澤)

◇ようやく編集が終ってほっとする。毎度のことながら、表紙をかざる写真を選ぶのに時間がかかる。迫力のある写真というのはなかなか撮るのは難しいのだろう。各協会写真の腕におぼえのある方、ぜひ挑戦して良い写真をお寄せください。(小島 創)

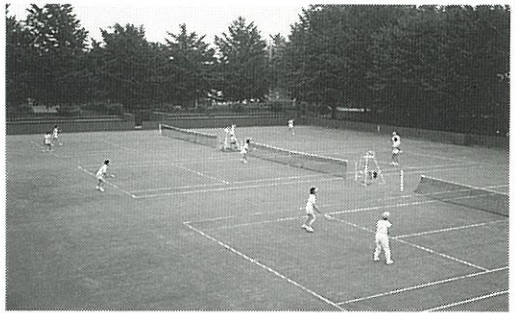
◇次回(24号)の発行は来年1月の予定。乞ご期待。

☆市制記念市民テニス大会

6月17日~8月12日 等々力庭球場

一般男女ダブルス・35才以上男子ダブルス・40才以上女子ダブルス・45才以上男子ダブルスの5種目に分けて行われました。

また、この期間中の7月15日(土)には午前9時から「ねんりんピック大会」出場の選手選考会が併せて行われ、60才以上男女ダブルス・65才以上男子ダブルスの2種目に延べ28名の熟年シルバーエイジの選手が参加、大会へ川崎市代表として出る資格を得ようと、円熟したプレー振りを披露し、若者に大きな刺激を与えました。



行事予告

◎川崎市民マスタース'89水泳競技大会

日時 平成元年10月10日(火) 9時開会

会場 多摩川スイミングスクール

資格 市内在住・在勤の16才以上男女

◎第4回家庭婦人テニス大会 (除高校生)

日時 10月24日(火)~26日(木)

会場 市営等々力庭球場

◎婦人水泳教室

期間 10月2日(月)より毎週月・金曜

11月6日迄(但し11月3日は除く)

12時45分~2時

会場 多摩川スイミングスクール

以上詳しくは市政だより9月号をご覧ください。

発行編集 平成元年8月12日(23号)

川崎市体育協会・同広報委員会

〒210 川崎市川崎区宮本町6番地

(川崎市教育委員会体育振興課内)

電話 (044) 200-3312

印刷 秋田印刷有限会社 766-5650